

遠賀川直轄河川改修事業(鯉田地区)【直轄】

河川－1

■平成30年7月豪雨により遠賀川中下流部(中間市～飯塚市)の約20kmで計画高水位を越える洪水が発生し、河川水位が高い状況が続いたことから、小竹町及び飯塚市で甚大な内水被害が発生。

■平成30年洪水以降、国・県・市から構成される「平成30年7月豪雨浸水対策連絡協議会」開催。

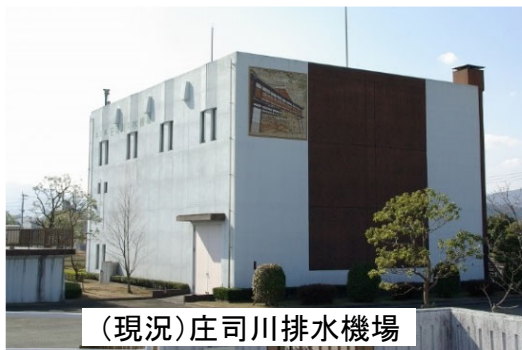
■内水1/10対応の整備を各機関の役割分担により実施。

■国では、R4補正予算にて、河道掘削及び排水機場の増設を実施し、浸水被害の軽減を図る。

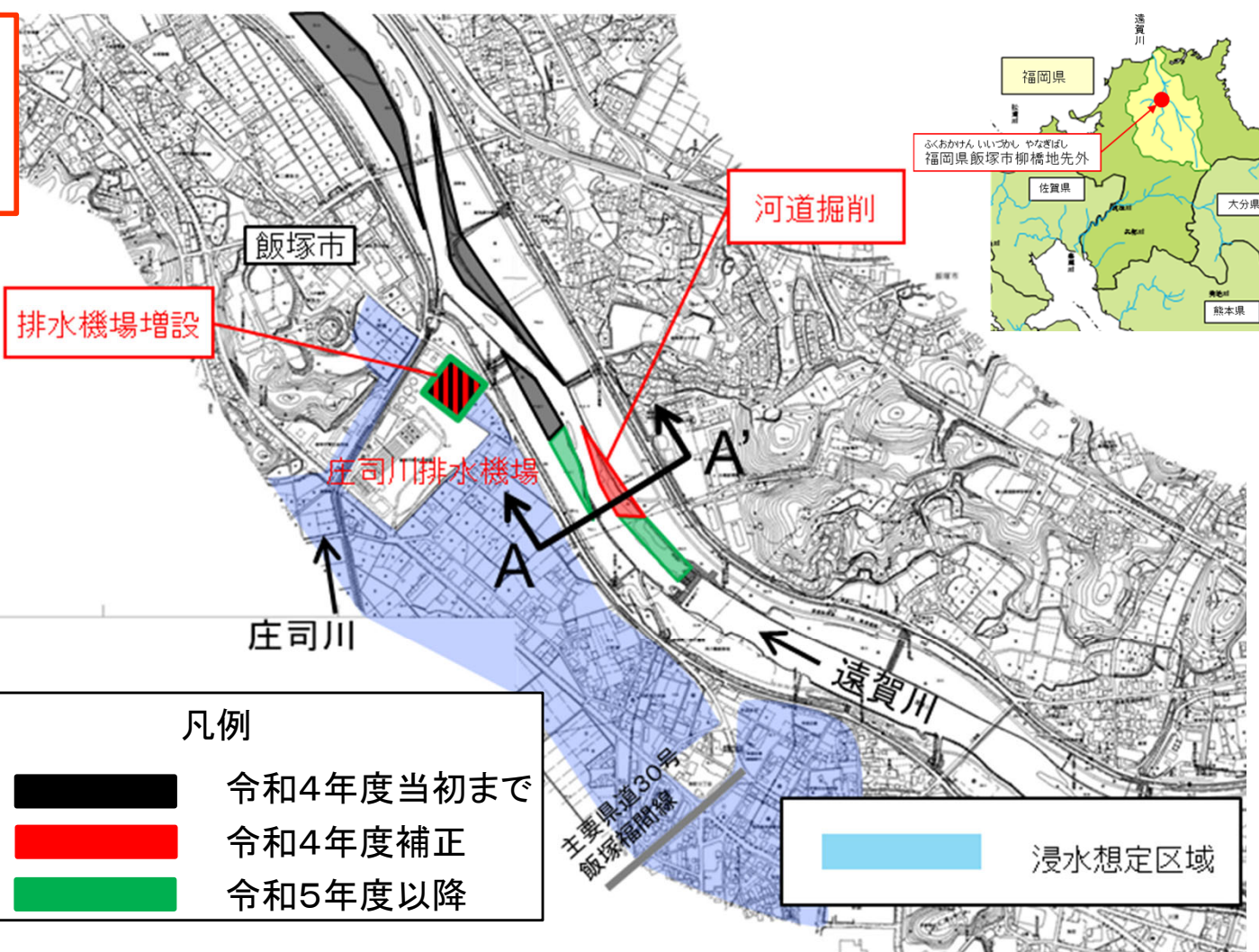
令和4年度補正

実施内容:排水機場、河道掘削
事業費:1,282百万円

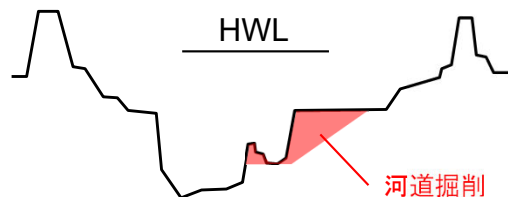
※遠賀川水系における直轄河川改修事業の
令和4年度補正予算の事業費を記載しております。



(現況)庄司川排水機場



河道掘削イメージ(A-A')



凡例

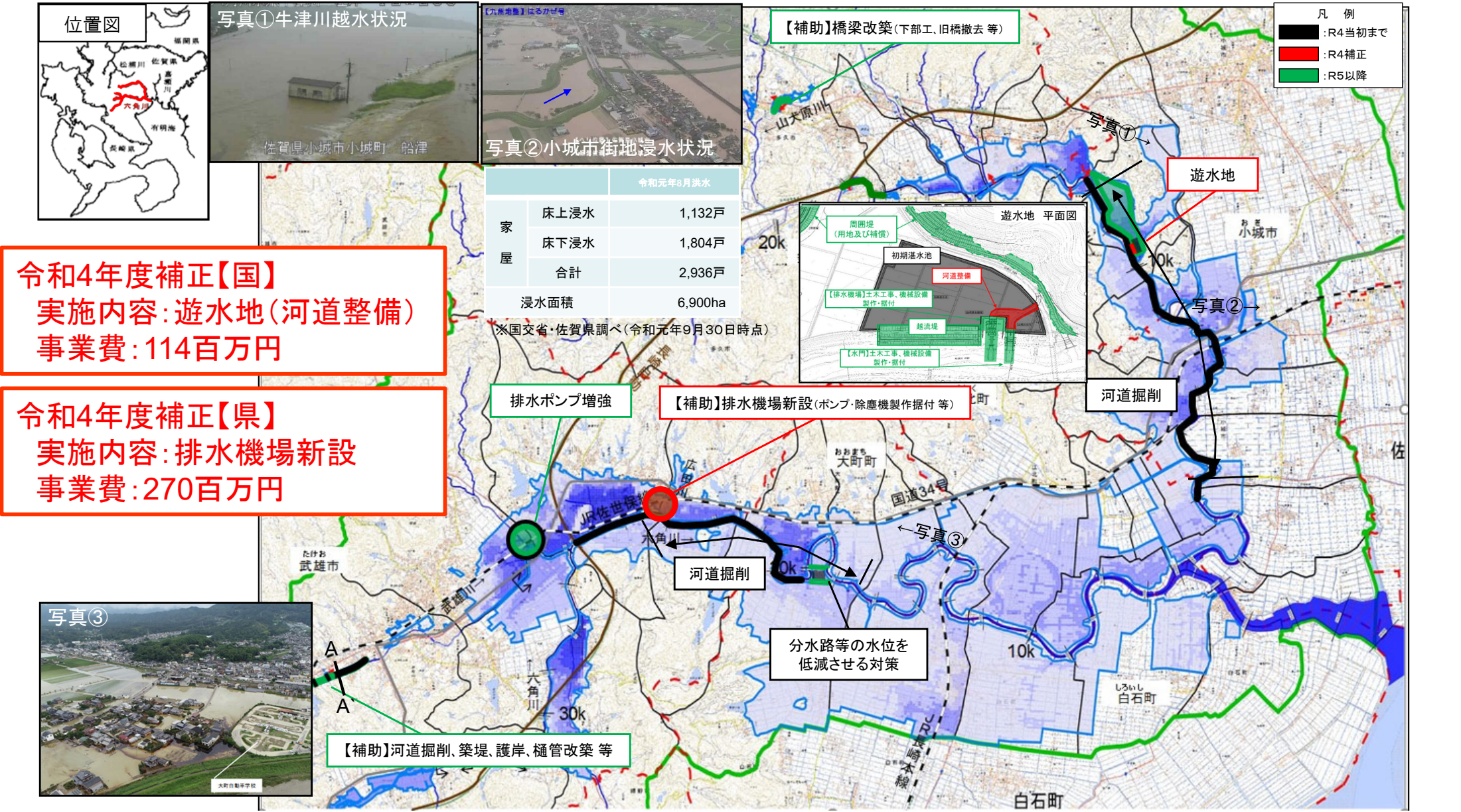
	令和4年度当初まで
	令和4年度補正
	令和5年度以降

六角川河川激甚災害対策特別緊急事業【直轄】

武雄川・広田川・山犬原川河川激甚災害対策特別緊急事業【補助】

■令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津側において観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。

■本事業を実施することにより、六角川水系において浸水被害軽減を図る。



城原川ダム建設事業【直轄】

■事業概要

- 場 所 佐賀県神埼市(筑後川水系城原川)
- 目 的 洪水調節
- 諸 元 堤高:約60m 総貯水容量:約3,550千 m^3
- 経 緯 昭和54年度 実施計画調査着手
平成30年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。
- ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

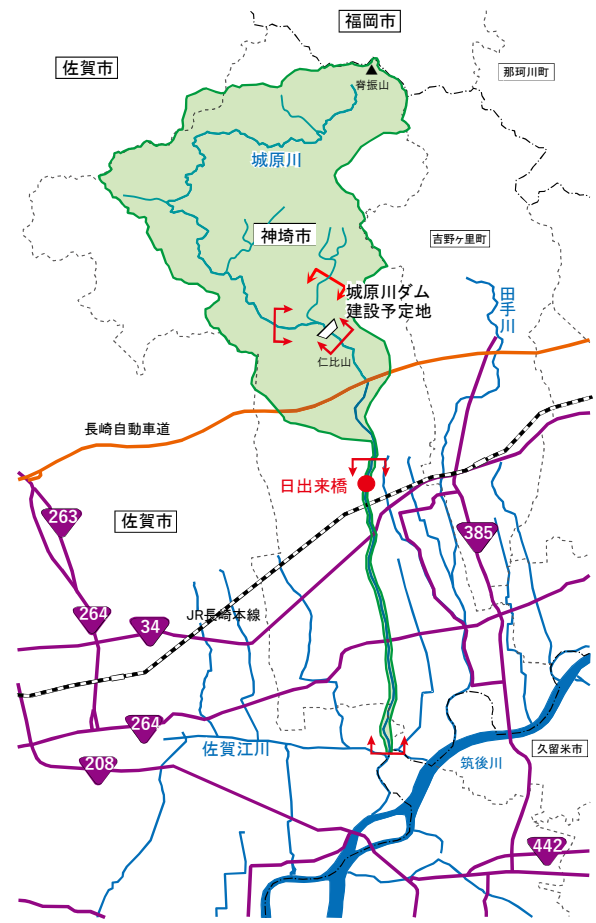
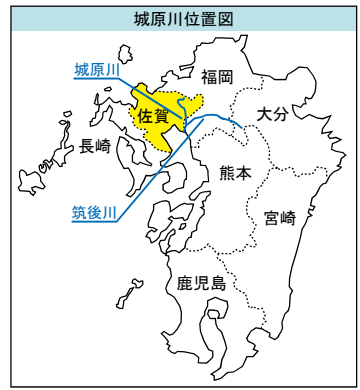
■令和4年度補正実施内容 用地調査

事業費：100百万円

■空から見た城原川ダム予定地

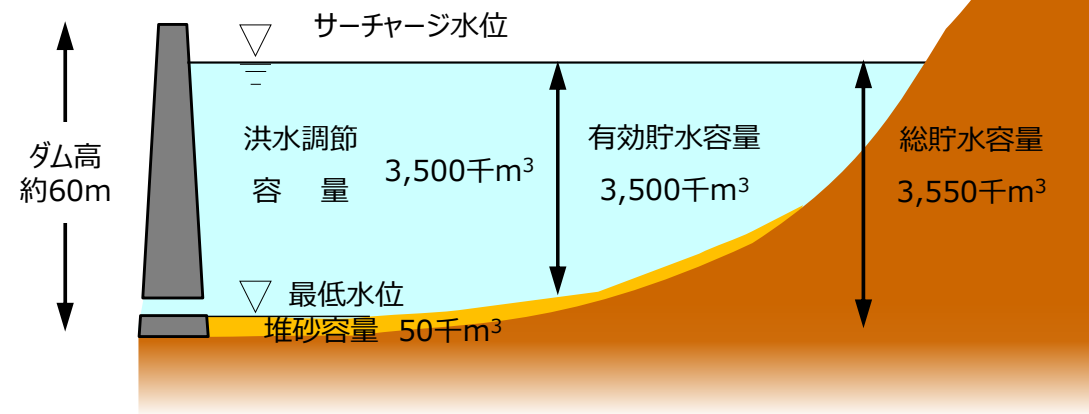


位置図



凡 例	
	鉄道
	高速道路
	主要道路
	県界
	市町村界
	城原川流域
	主要地点
	国管理区間

諸元



本明川ダム建設事業【直轄】

河川－4

■事業概要

- 場所 長崎県諫早市(本明川水系本明川)
○目的 洪水調節
流水の正常な機能の維持
○諸元 堤高:約60.0m 総貯水容量:約6,200千 m^3
○経緯 平成2年度 実施計画調査着手
平成6年度 建設事業着手
○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し渇水被害の軽減を図る。

◆洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

位置図



■令和4年度補正実施内容

付替道路工事、工事用道路工事 等

事業費：715百万円

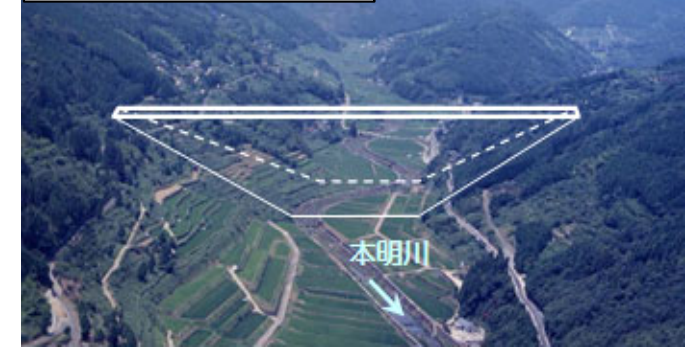


付替市道施工状況 (R4. 9撮影)



付替県道施工状況 (R4. 9撮影)

本明川ダム完成イメージ



諸元



菊池川総合水系環境整備事業【直轄】

- 菊池川水系^{はざま}迫間川菊池地区では、菊池市、熊本大学、菊池高等学校等が連携しながら、歴史・文化、水と緑豊かな特性を活かした人々が憩う空間を形成しまちと一体となった賑わいづくりに取り組んでいる。
- 令和4年度補正予算により、熊本県菊池市^{わいふ}隈府・^{ぎよくしやうじ}玉祥寺地区における国整備が完了し、利便性・安全性を向上させることにより地域活性化を図る。

位置図



事業費：127百万円

護岸整備

管理用通路

河道内改正

護岸整備

坂路・階段
《学生案による》

管理用通路

分散型落差工

河道内改正

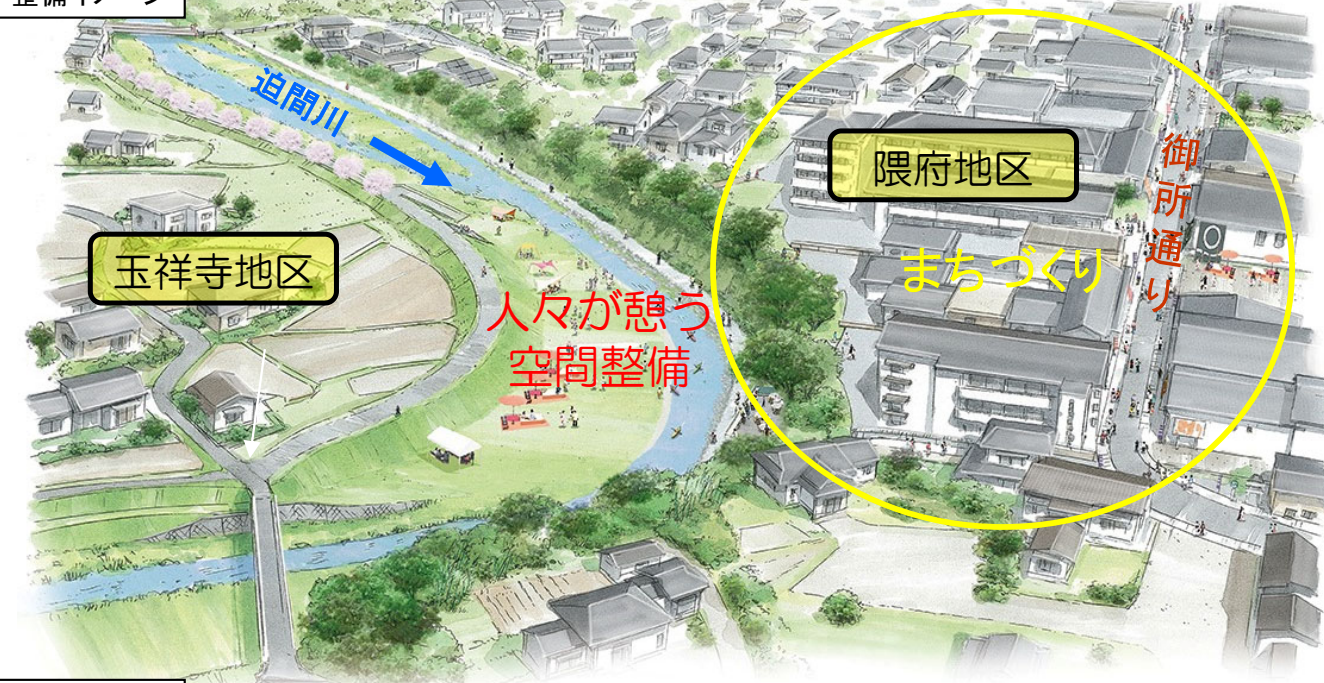
管理用通路

水制工

凡例

令和4年度当初まで
令和4年度補正

整備イメージ



整備状況



■令和2年7月豪雨では記録的な降雨となり、球磨川流域では観測開始以来最高の雨量・水位を記録し、河川の氾濫等により、家屋の流出など甚大な被害を受けた。

■球磨川水系において浸水被害の軽減を図るために、令和4年度補正予算にて河道掘削、輪中堤・宅地嵩上げ、堤防整備（引堤）、遊水地を実施。

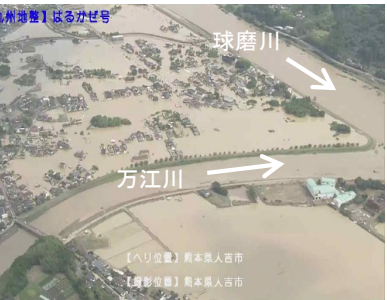


令和2年7月豪雨【被害状況】

市町村名	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)
人吉市	約518	4,681
錦町	約290	約280
相良村 (柳瀬橋下流)	約90	約260
相良村 (柳瀬橋上流)	約130	約170
球磨村	約70	約290
八代市	約25	約520
あさぎり町	約20	約4
芦北町	約5	約70
合 計 ※	約1,150	約6,280

事業費：9,678百万円

※球磨川水系における大規模災害関連事業の令和4年度補正予算の事業費を記載しております。



▲球磨川(58.0k付近)における浸水被害状況(人吉市)



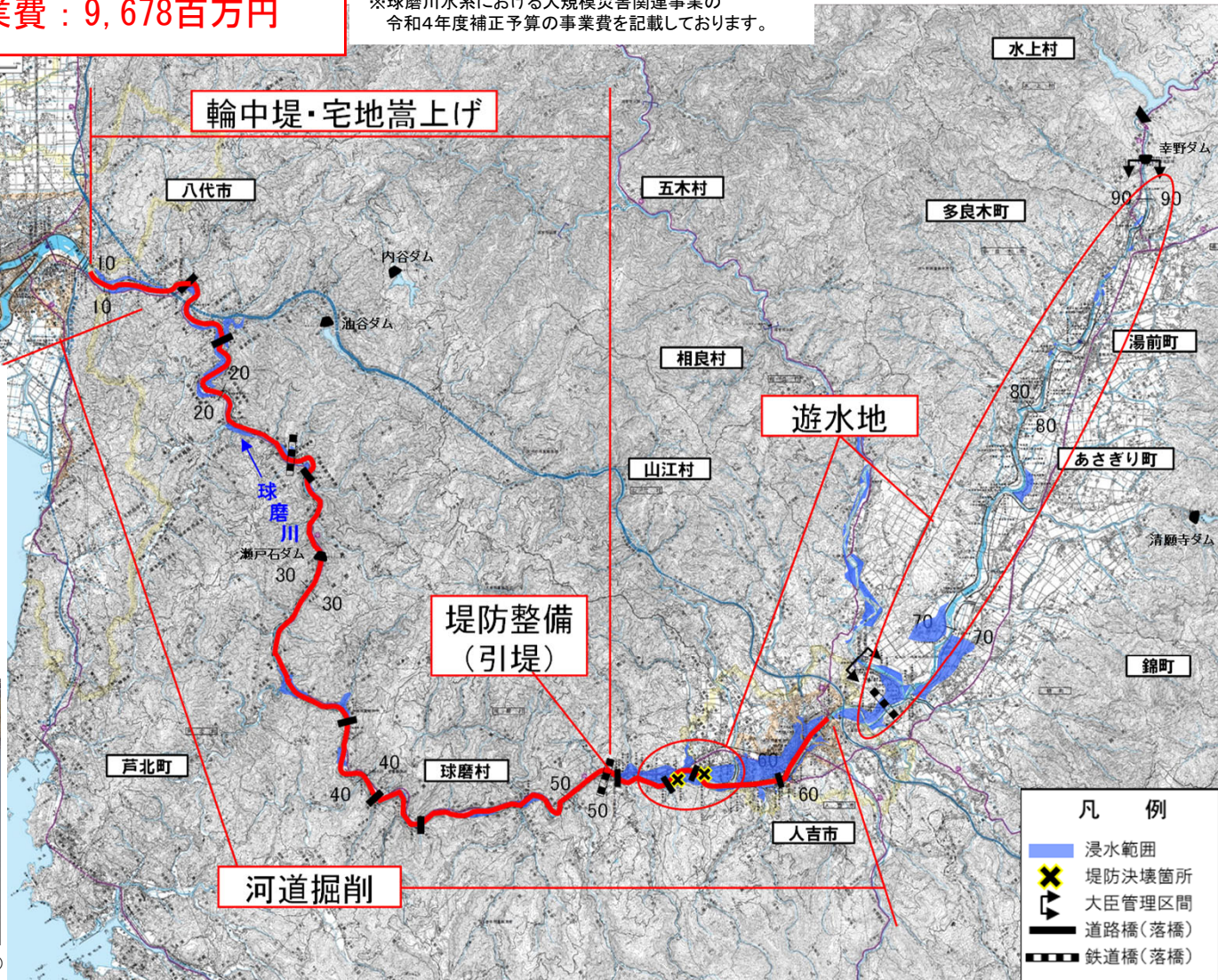
▲球磨川(61.4k付近)右岸の人吉市の浸水被害状況



▲球磨川56.4kの堤防決壊状況(人吉市)



▲球磨川(52.0k付近)における護岸の被害状況(球磨郡球磨村)



球磨川水系直轄砂防事業【直轄】

■球磨川水系直轄砂防事業(球磨郡五木村吐合)

○入鴨川は下流に人家5戸，集会所，県道161号五木湯前線等の保全対象が存在する。砂防堰堤1基を整備することで、本川上流からの流出土砂・流木を捕捉することができる。

○土石流による被害を防止・軽減するため、補正予算にて入鴨第8砂防堰堤等の建設を実施する。



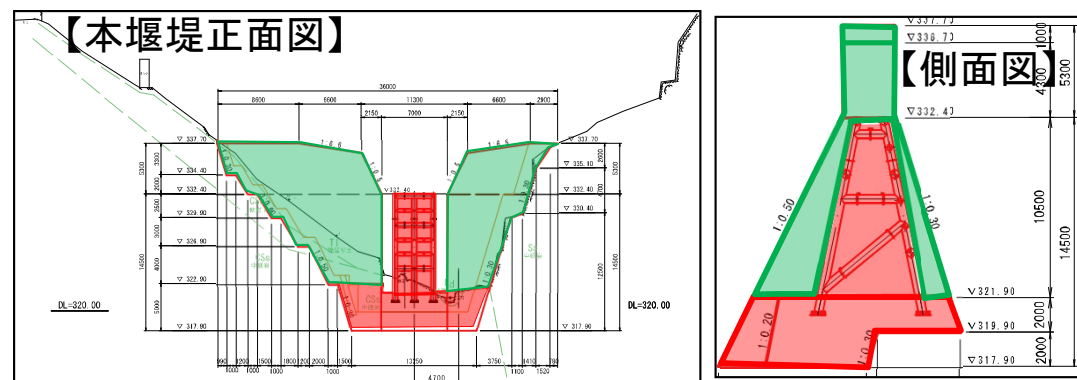
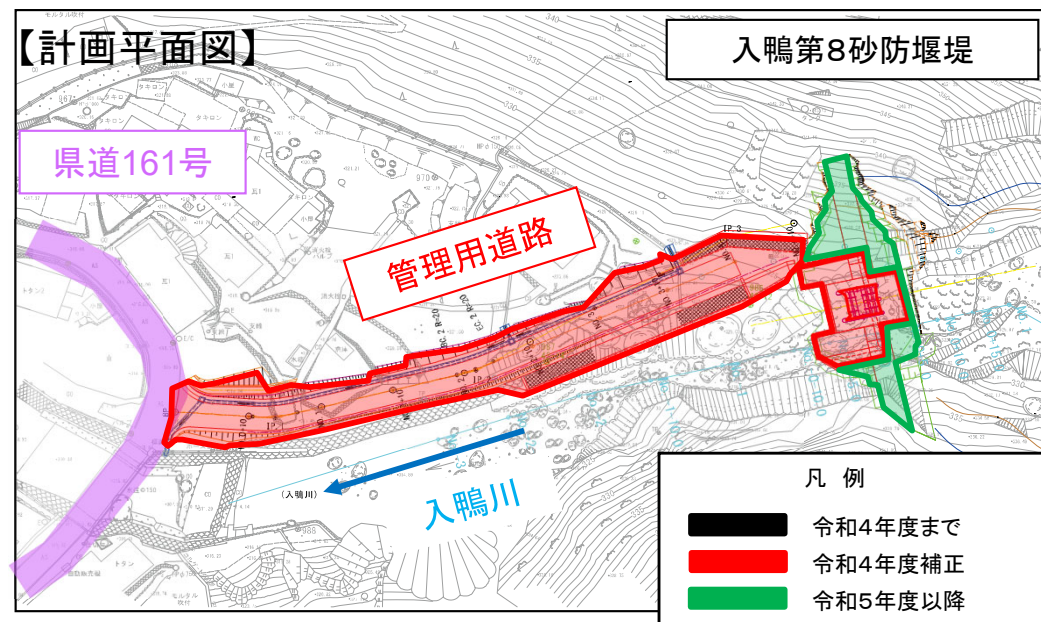
令和4年度補正

実施内容: 砂防堰堤工 N=1基

管理用道路 1式

事業費: 234百万円

※球磨川水系における直轄砂防事業の
令和4年度補正予算の事業費を記載しております。



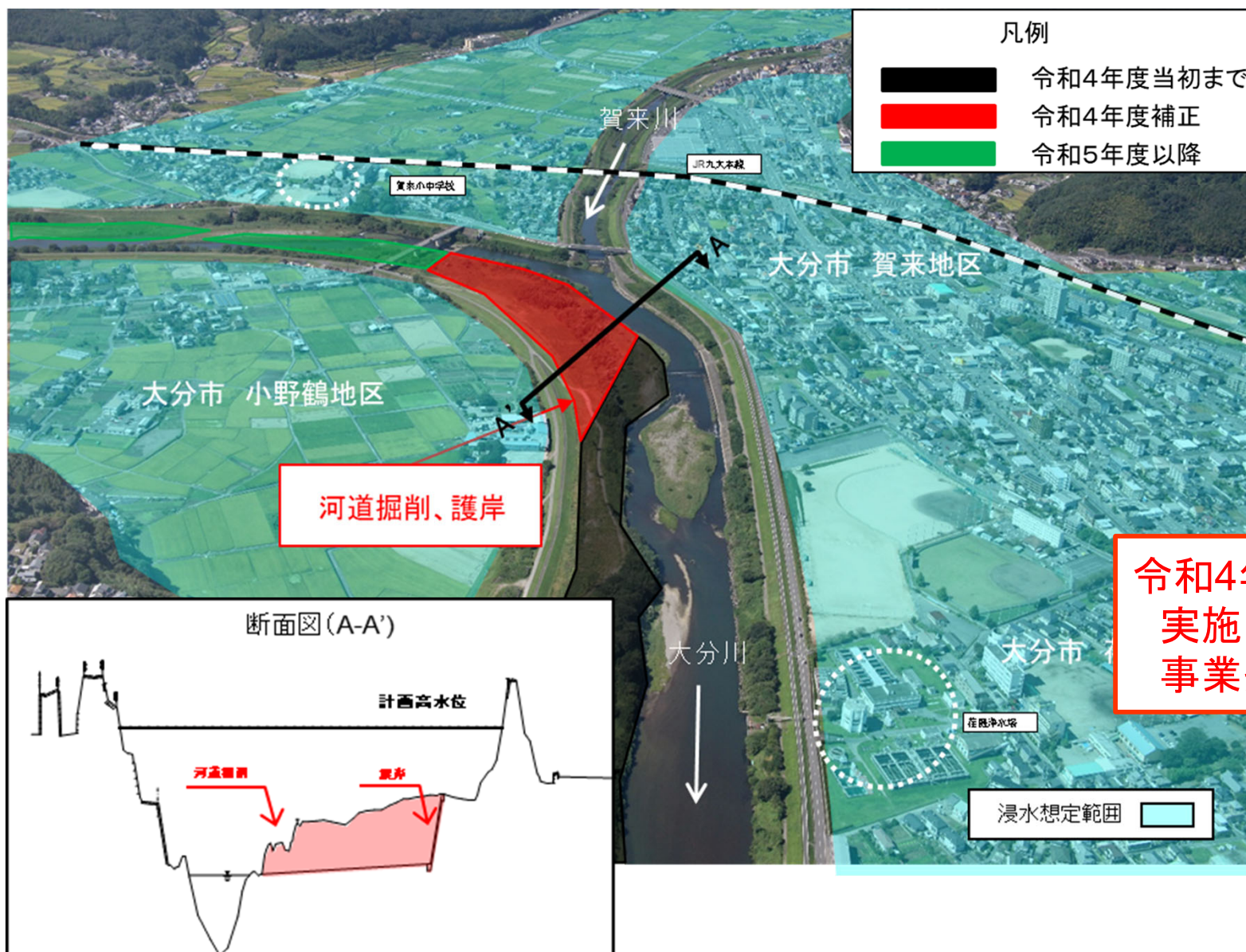
堰堤工を新設し、土石流による災害を防止する

大分川直轄河川改修事業(小野鶴地区)【直轄】

河川－8

■戦後最大規模の昭和28年6月洪水(1/70)規模を安全に流すことを目標として、河道掘削等を進めている。

■令和4年度補正予算にて、河道掘削を実施し、浸水被害軽減を図る。



令和4年度補正
実施内容:河道掘削、護岸
事業費:600百万円

※大分川水系における直轄河川改修事業の
令和4年度補正予算の事業費を記載しております。

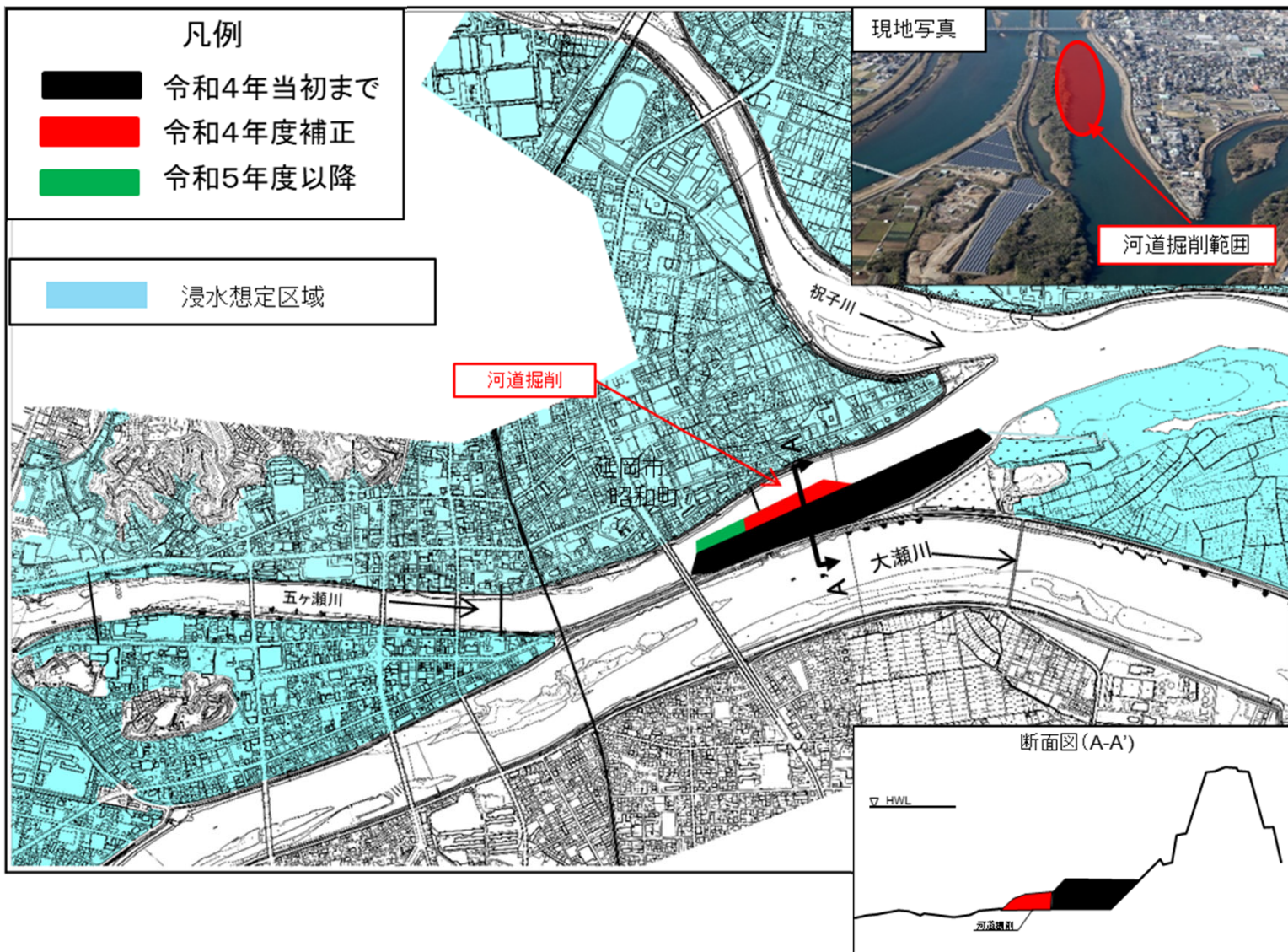
五ヶ瀬川直轄河川改修事業(隔流堤地区)【直轄】

河川－9

■平成5年8月洪水（概ね1/30）を安全に流すことを目標として、これまで河道掘削を実施中。

■直近では、令和4年9月の台風14号による豪雨において、内水被害が発生。

■事前防災をより加速化させるため、令和4年度補正予算にて、河道掘削を実施し、本川水位を低下させ、内水被害の軽減を図る。



令和4年度補正
実施内容:河道掘削
事業費:620百万円※

※五ヶ瀬川水系における直轄河川改修事業の
令和4年度補正予算の事業費を記載しております。

大淀川直轄河川改修事業(浦之名地区)【直轄】

河川－10

- 既往最大の平成17年9月洪水と同規模の洪水を安全に流すことを目標として、これまで河道掘削を実施中。
- 令和4年9月の台風14号により、平成17年9月洪水に迫る雨量・水位を記録するとともに流域内において内水被害が発生。
- 事前防災をより加速化させるため、令和4年度補正予算にて、河道掘削を実施し、本川水位を低下させ、内水被害の軽減を図る。

位置図



流域図

DP1 : 260, 000

たかおかちようらのみよう

宮崎県宮崎市高岡町浦之名地先



令和4年度補正
実施内容:河道掘削
事業費:470百万円※

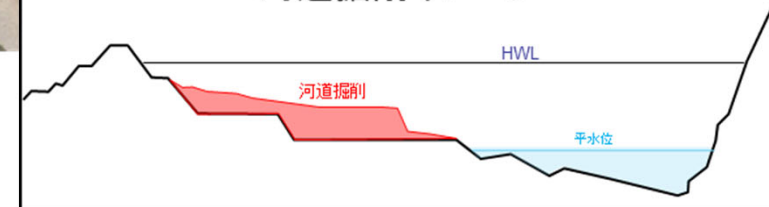
凡例

- 令和4年度補正
- 令和5年度以降



浸水想定範囲

河道掘削イメージ



※大淀川水系における直轄河川改修事業の
令和4年度補正予算の事業費を記載しております。

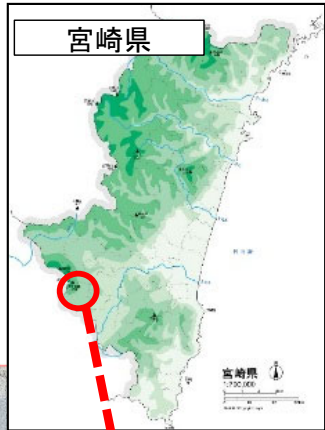
大淀川水系直轄砂防事業【直轄】

にしまろかたぐんたかはる

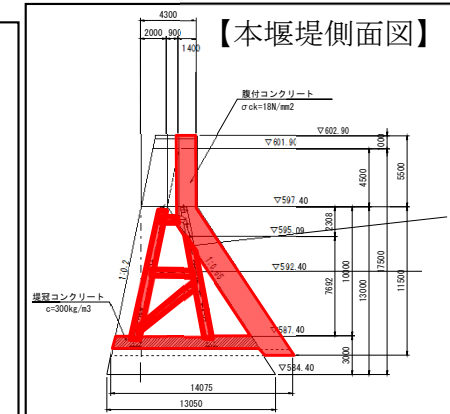
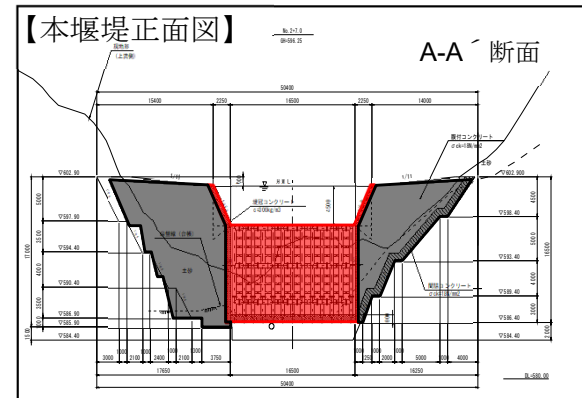
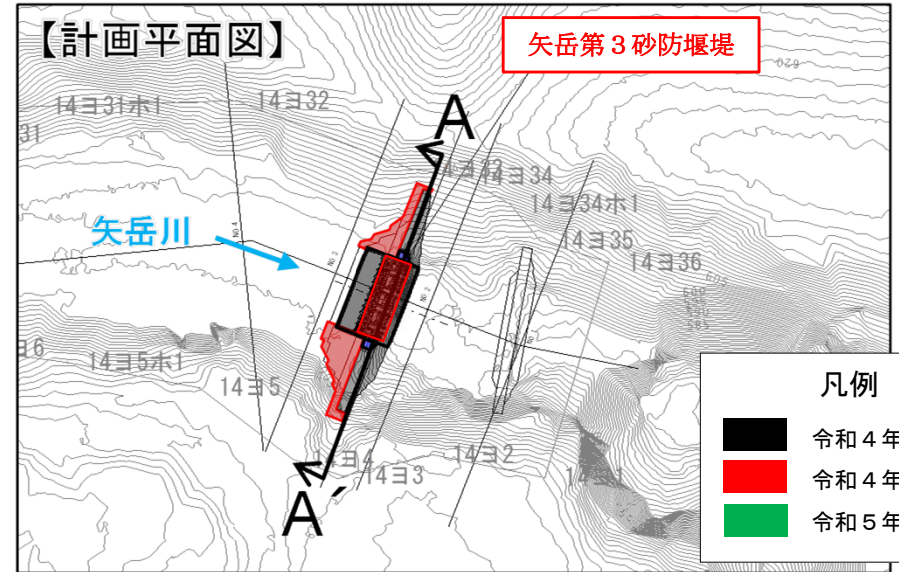
■大淀川水系直轄砂防事業(西諸県郡高原町)

○大淀川水系高崎川及び庄内川上流域では、霧島山(新燃岳)の噴火等によって流域が荒廃し、降雨時に土石流の発生する危険性が高い状態にある。

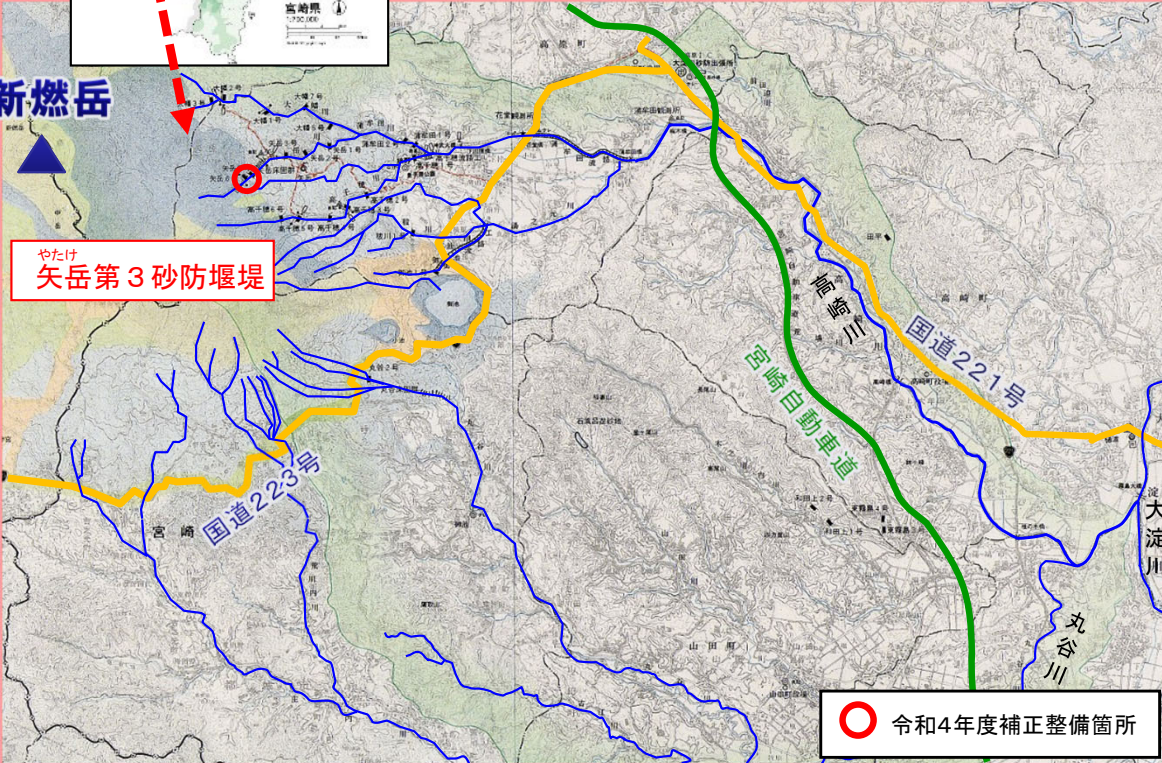
○土石流による被害を防止・軽減するため砂防施設を整備中であり、補正予算にて矢岳第3砂防堰堤等の補強を実施する。



令和4年度補正
実施内容: 砂防堰堤工 N=1基
(既設改良)
事業費: 313百万円



堰堤工を実施し、土砂流出による災害を防止する



■宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業(宮崎県)

○宮崎海岸は、背後に宮崎市の市街地や一ツ葉有料道路などの重要交通網が控え、高潮・高波などの自然災害による影響が大きい地域であるため、直轄事業により海岸保全施設の整備を進めている。

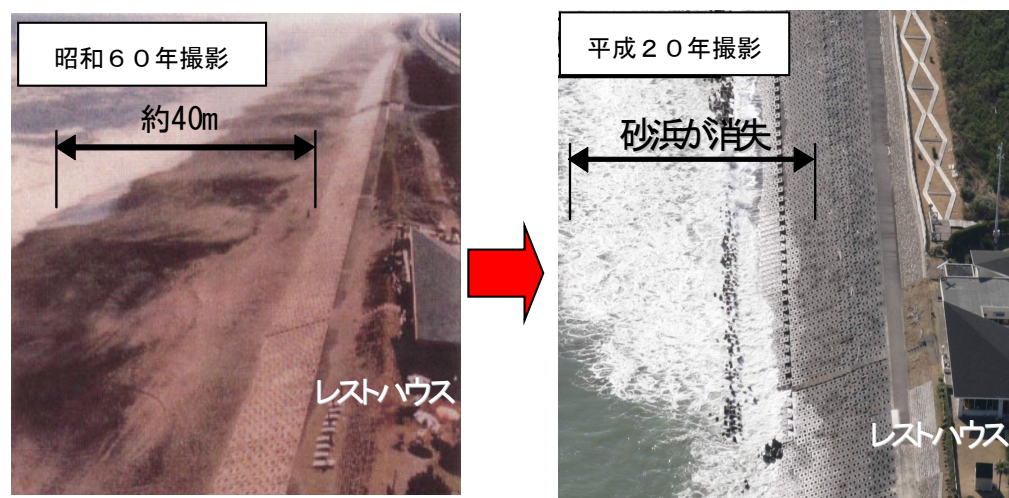
○波浪による侵食が著しい動物園東地区等において、高潮・高波による施設の損傷や背後地の浸水・越波を防止するため、養浜工等の整備を実施するとともに、防災情報の迅速かつ的確な把握・提供のためCCTVカメラの更新及び強化を実施する。



※養浜：海岸に人工的に砂を投入し、砂浜を養うこと。

令和4年度補正
実施内容：養浜工 $V=20千m^3$
CCTV更新及び強化 4台
事業費：148百万円

長期的な地形変化



令和4年の台風14号通過後の海岸の状況（令和4年9月22日撮影）



サンドバック（埋設護岸）により浜崖の後退を防ぎ背後地を守った

- 戦後最大の平成18年7月洪水を安全に流すことを目標として、これまで河道掘削を実施中。
- 令和3年7月豪雨において、戦後最大の被害をもたらした平成18年7月出水時に匹敵する雨量を観測するとともに内水被害が発生。
- 事前防災をより加速化させるため、令和4年度補正予算にて、河道掘削を実施し、水位を低下させ内水被害軽減を図る。



令和4年度補正
実施内容:河道掘削、護岸
事業費:1,730百万円※

※川内川水系における直轄河川改修事業の
 令和4年度補正予算の事業費を記載しております。

